

## ●ウィルあいちセミナー 女性学

### 【平成17年度春期】

女性学へのお誘い		北京会議（第4回世界女性会議）から10年目の今年、これまでの世界女性会議の成果や課題に目を向け、女性・男性共に自分らしく生きられる社会について考える。	対象：一般 定員：40人 参加者：29人（応募33人） 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	5/26（木） 10:00~12:00	北京プラス10～これまでの成果と課題～	日置雅子（愛知県立大学教授）
2	6/2（木） 10:00~12:00	女性が輝ける社会～女性の政治参画と政策決定～	岩本美砂子（三重大大学教授）
3	6/9（木） 10:00~12:00	女性・子どもへの暴力～DV・虐待～	石川洋明（名古屋市立大学大学院助教授）
4	6/16（木） 10:00~12:00	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ～自分らしく産む？産まない？～	鈴木和代（名古屋大学教授）
5	6/23（木） 10:00~12:00	意識と意図の問題～ジェンダー意識とメディア～	東福寺一郎（三重短期大学教授）
6	7/2（土） 13:30~15:30	公開講座 バックラッシュ（揺り戻し）と闘う女たち ～第49回国連女性の地位委員会（ニューヨーク）から～	竹信三恵子（朝日新聞記者）

### 【平成17年度冬期】

時代を拓く女性学～なぜDVは隠れていたか～		DV防止法も施行され、社会問題としても取り上げられているが、まだ他人事、私的な問題ととらえる部分が残る。何がDVを潜在化させてきたか、DVを様々な角度から探り、女性の生き方に関わる課題を考える。	対象：一般 定員：40人 参加者：54人（応募54人） 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	1/25（水） 13:30~15:30	DVの現状～みんなで考えてみませんか？～	石田ユミ（ウィルあいち相談員）
2	2/1（水） 13:30~15:30	DVと法律～DVは密室の犯罪です～	可児康則（ウィルあいちDV専門電話相談弁護士）
3	2/8（水） 13:30~15:30	DV被害者を考える ～暴力を受けるあなたが悪いではありません～	千田義輝（愛知県女性相談センター主任専門員兼主査（相談指導担当））
4	2/15（水） 13:30~15:30	DVと子どもへの影響～記憶は連鎖の道へと繋がる～	山田麻紗子（日本福祉大学助教授）
5	2/22（水） 13:30~15:30	DV加害者の心理～なぜ暴力を選ぶのか？～	市川季夫（名古屋家族相談室長）
6	3/4（土） 13:30~15:30	公開講座 DVの今後の課題と支援～目をそらさないで～	戒能民江（お茶の水女子大学教授）

### 【平成16年度春期】

メディアを読む！ ～女性学へのお誘い～		メディアが伝えるメッセージは生活にどのような影響を与えているのか。さまざまなメディアが発信する情報を主体的に読み解き、自分で判断する力をつける。	対象：一般 定員：40人 参加者：31人（応募34人） 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	6/3（木） 14:00~16:00	メディア・リテラシー ～情報操作されないために！～	平野よう子（三重大学非常勤講師）
2	6/10（木） 14:15~16:15	ワークショップ①メディアを読み解く ～視点が変われば情報も変わる～	岡久美子（シニアライフ研究所りあもでんな代表、金城学院大学非常勤講師）
3	6/17（木） 14:15~16:15	ワークショップ②メディアが作る女性像・男性像 ～CM・テレビ番組から～	

4	6/24 (木) 14:15~16:15	ワークショップ③受信から発信へ ～雑誌からマニフェストまで～	
5	7/1 (木) 14:00~16:00	ニュースの真実はどこ？～報道する側の意図～	五島幸一(愛知淑徳大学教授)
6	7/8 (木) 14:00~16:00	メディアをいかす ～インターネット時代のスマートライフ～	小栗宏次(愛知県立大学教授)

#### 【平成16年度冬期】

時代を拓く女性学 ～どう生きる少子高齢社会～		少子高齢社会が進展し、人口減社会が現実問題となっ てきている現在、少子高齢社会を招いた要因を探り、 少子高齢社会の到来により変化する家族の姿や経済状 況、社会保障制度について考える。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：30人(応募38人) 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	1/29 (土) 13:30~15:30	どうなる少子高齢社会～人口減と社会の変化～	坂井貞彦(愛知淑徳大学教授)
2	2/5 (土) 13:15~16:45	どうなる家族～ワークショップで考えよう～	東珠実(相山女学園大学教授)
3	2/12 (土) 13:30~15:30	どうなる暮らし～経済からみる社会の変化～	山本陽子(名古屋市立大学助 教授)
4	2/19 (土) 13:30~15:30	どうなる年金・医療・介護保険～変化する社会保障～	安宅川佳之(日本福祉大学教 授)
5	2/26 (土) 13:30~15:30	ノルウェー見聞録～先進事例から～	酒井ゆり(中日新聞社生活部 記者)

#### 【平成15年度春期】

女性学へのお誘い		非婚、結婚、離婚、事実婚など今までの常識や価値観にとら われない生き方を知り、生活上の問題も含めて考える。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：61人(応募88人) 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	6/5 (木) 10:00~12:00	「個」を求める社会～人としてどう生きたいか～	岩崎久美子(国立教育政策研 究所生涯学習政策研究部主任 研究官)
2	6/12 (木) 10:00~12:00	二人で支えあえばもっと楽しい～家族の責任～	東珠実(相山女学園大学教授)
3	6/19 (木) 10:00~12:00	生き方を変える決断～一人になっても大丈夫！～	雑賀正浩(弁護士)
4	6/26 (木) 10:00~12:00	あなたの財産、大丈夫？①～健康：自分の体は自分で守る～	柳堀朗子(愛知県立看護大学 助教授)
5	7/3 (木) 10:00~12:00	あなたの財産、大丈夫？② ～資産：一人でも生活できるために～	鈴木康信(アルニオン代表)
6	10/25 (土) 13:30~15:30	公開・合同講座 ウィルあいち法律相談所 ～あなたも一緒に考えてみませんか～	大塚鎗子(弁護士)他

#### 【平成15年度冬期】

時代を拓く女性学		高齢化、少子化、核家族の増加など大きく変化する社会 情勢の中で、「自分の生き方は自分で決める」ために、 個人と家族・社会のつながりや変化を、もう一度考えて みる。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：47人(応募61人) 受講料：1人1,500円
日時		テーマ	講師
1	1/31 (土) 13:30~16:30	社会が変わる～女も男も働き方が変わる～	大沢真知子(日本女子大学教授)
2	2/7 (土) 13:30~15:30	資産を考える～自分の意思(財産)を残そう～	富田隆司(弁護士)

3	2/14 (土) 13:30~15:30	食を考える～食へのこだわり～	松田房子(社団法人愛知県栄養士会副会長)
4	2/28 (土) 13:30~15:30	家族が変わる～多様化する家族～	山根真理(愛知教育大学助教授)
5	3/6 (土) 13:30~16:30	葬送を考える～終えんも自分で決める～	井上治代(ノンフィクション作家、エンディングセンター代表)

#### 【平成14年度春期】

女性学へのお誘い		ワールドカップ同時開催で話題の韓国の女性事情やメディアの中の女性の話など、身近なテーマを取り上げ、今まで気づいていなかったことを発見し、自分の周りから考える。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：56人(応募60人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	5/23 (木) 10:00~12:00	身近にあるジェンダー～教育の現場から～	立田慶裕(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)
2	5/30 (木) 10:00~12:00	隣の国の女性事情～韓国の文化を通じて～	文嬉眞(愛知学泉大学コミュニティ政策研究所客員研究員)
3	6/6 (木) 10:00~12:00	向田邦子から吉本ばななまで～文学の中の女性たち～	松田良一(椋山女学園大学教授)
4	6/13 (木) 10:00~12:00	女性天皇のいた時代～歴史の中の女性たち～	田中貴子(京都精華大学助教授)
5	6/20 (木) 10:00~12:00	生活の中の女性学 ～経済が家庭に及ぼす影響を考えてみよう～	生江明(日本福祉大学助教授)
6	6/27 (木) 10:00~12:00	メディアと女性たち ～メディア・リテラシーを考える～	平野よう子(三重大学非常勤講師)

#### 【平成14年度冬期】

時代を拓く女性学		生き方を多方面から考え、これからのライフスタイルを見直す。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：55人(応募61人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	1/25 (土) 13:30~16:00	変貌する男性社会～女も男も生き方を変える～ (男性専科との合同講義)	石田好江(愛知淑徳大学教授)
2	2/1 (土) 13:30~15:30	仕事と家庭の充実 ～ワークライフバランスってなに?～	田村哲樹(名古屋大学助教授)
3	2/15 (土) 13:30~15:30	夢を持って働くには ～自分のやりたいこと、やりたくないこと～	関戸美恵子(特定非営利活動法人起業支援ネット代表理事)
4	2/22 (土) 13:30~15:30	中世に生きた女性の行動力～争乱の中、夢を求めて～	安田徳子(岐阜聖徳学園大学教授)
5	3/1 (土) 13:30~16:30	変わる年金制度～「世帯」から「個」へ～ (男性専科との合同講義)	袖井孝子(お茶の水女子大学教授)

#### 【平成13年度春期】

女性学へのお誘い ～高齢社会を迎えて～		生き生きとした男女共生の実現のために、高齢社会の問題について考える。	対 象：一般 定 員：40人 参加者：39人(応募47人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	5/25 (金) 10:00~12:00	女性にとっての問題は?～高齢社会を迎えて～	春日キスヨ(安田女子大学教授)
2	5/31 (木) 10:00~12:00	介護者の意識改革～介護の社会化に向かって～	堀ひとみ(有限会社ヘルパースクールカイ代表取締役、株式会社ヘルパーネット代表取締役、国立東名古屋病院付属リハビリテーション学院講師)

3	6/7 (木) 10:00~12:00	介護保険の仕組みと問題点～きちんと活用する～	西川正(さいたまNPOセンター事務局長)
4	6/14 (木) 10:00~12:00	男性が考える老後と介護 ～社会サービスを考え、介護に参加する～	高間睦(中日新聞編集局生活部記者)
5	6/21 (木) 10:00~12:00	自立した生活のために①～自分らしく暮らす～	日置真紀(株式会社生活科学運営取締役)
6	6/28 (木) 10:00~12:00	自立した生活のために②～自分の健康を守る～	渡辺一弘(名古屋市医師会理事、西区認定審査委員)

【平成13年度冬期】

時代を拓く女性学		DV防止法の施行や夫婦別姓の民法改正などの動きの中で、男女共同参画社会づくりにおける問題を考えてみる。	対象：一般 定員：40人 参加者：49人(応募58人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	1/26 (土) 13:30~15:30	家族はどう変わるのか	森川麗子(相山女学園大学教授)
2	2/2 (土) 13:30~15:30	専業主婦を巡る問題① ～女性の労働について考える(アンペイドワーク、パート、派遣労働)～	見崎恵子(愛知教育大学教授)
3	2/16 (土) 13:30~15:30	女性への暴力とDV防止法の限界を考える	須藤八千代(愛知県立大学助教)
4	2/23 (土) 15:00~17:00	専業主婦を巡る問題② ～社会保障・年金制度の問題点～	鹿嶋敬(日本経済新聞社編集委員兼論説委員)
5	3/16 (土) 13:15~16:45	21世紀の「姓」と「性」 ～夫婦別姓について考える～(男性専科との合同講義)	広岡守穂(中央大学教授)

【平成12年度春期】

女性学へのお誘い		男女共生の実現のための身近なテーマを取り上げて一緒に考える。	対象：一般 定員：40人 参加者：47人(応募51人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	6/1 (木) 10:00~12:00	男女共生の社会～家庭・地域等での男女平等～	伊藤公雄(大阪大学教授)
2	6/8 (木) 10:00~12:00	女性を巡る法律学～男女平等に向かって～	大塚鏡子(弁護士)
3	6/15 (木) 10:00~12:00	女性に対する暴力～ドメスティック・バイオレンス～	笹原牧太(愛知県婦人相談所主任専門員)
4	6/22 (木) 10:00~12:00	女性が働くこと～専業主婦を考える～	佐々木啓子(日本女子大学非常勤講師)
5	6/29 (木) 10:00~12:00	情報を送る・情報を受ける～メディア・リテラシー～	野村由美子(中日新聞編集局生活部記者)
6	7/6 (木) 10:00~12:00	女性の現状は?～社会参画、今そしてこれから～	岩本美砂子(三重大学教授)

【平成12年度冬期】

時代を拓く女性学 ～21世紀の男女平等～		女性2000年会議と男女共同参画社会基本計画を通して、男女共同参画社会を考えてみる。	対象：一般 定員：40人 参加者：53人(応募58人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	1/27 (土) 13:30~15:30	21世紀の最重要課題① ～女性の人権の尊重のために…日本にはどのようなDV対策が必要か～	戒能民江(お茶の水女子大学教授)

2	2/3 (土) 13:30~15:30	21世紀の最重要課題② ～真の男女平等とは?～ (男性専科との合同講義)	中里見博(福島大学助教授)
3	2/10 (土) 13:30~15:30	女性2000年会議からの発信① ～女性の権利の向上のために～	森屋裕子(世界女性会議ネットワーク関西事務局長)
4	2/17 (土) 13:30~15:30	女性2000年会議からの発信② ～世界を変えるNGOの力～	山下泰子(文京女子大学教授・北京JAC代表)
5	2/24 (土) 13:30~15:30	女性2000年会議からの発信③ ～「成果文書採択」が持つ意味～	橋本ヒロ子(十文字学園女子大学教授)

【平成11年度春期】

時代を拓く女性学		今までの世界女性会議で取り組まれた様々な社会状況とその課題を考える。	対象：一般 定員：40人 参加者：44人(応募55人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	5/22 (土) 13:30~15:30	新しい女性学は北京から始まった ～愛知、そして世界を巡る大きな流れ～	國信潤子(愛知淑徳大学教授)
2	5/29 (土) 13:30~15:30	課題①「女性が働く」その進歩を探る ～均等法にアンペイドワーク…日本と世界～	中野麻美(弁護士)
3	6/5 (土) 13:30~15:30	課題②女性の権利…リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ～女性が決定権を持つということ～	房野桂(かながわ女性会議代表)
4	6/12 (土) 13:30~15:30	課題③もっと女性を! ～女性の社会参画—政治・経済・教育～	谷田沢典子(桜花学園大学教授)
5	6/19 (土) 13:30~15:30	課題④女性への暴力の廃絶 ～家庭内暴力を考える～ (グループワーク)	高島智世(愛知教育大学ほか講師)
6	6/26 (土) 13:30~15:30	2000年、ニューヨークに向けて ～世界と日本、今なすべきこと～	佐藤洋子(財団法人東京女性財団理事長)

【平成11年度冬期】

女性学へのお誘い		制度が大きく変わろうとしている「介護」や性別役割等を通して女性学の世界に触れる。	対象：一般 定員：40人 参加者：35人(応募40人) 受講料：1人1,200円
日時		テーマ	講師
1	1/22 (土) 10:30~15:30	女が看る、男が看る～介護の男女共同分担～ (男性専科との合同講義)	竹永睦男(介護プロデューサー) たけながかずこ(マザーリング研究所長)
2	1/29 (土) 10:30~15:30	役割からの自己解放～意識の変革～ (グループワーク)	後藤澄江(日本福祉大学教授)
3	2/5 (土) 10:30~15:30	男女共同参画社会を目指して～基本法の理解と実践～ (グループワーク)	池田桂子(弁護士)

【平成10年度春期】

女性学のキーワード		一見難しそうな女性学をテーマに、身近な問題から女性学の世界に触れてみる。	対象：一般 定員：40人 参加者：49人(応募73人) 受講料：1人1,000円
日時		テーマ	講師
1	5/14 (木) 10:00~12:00	ジェンダー～「男は仕事、女は家庭」に賛成しますか～	村松安子(東京女子大学教授)
2	5/21 (木) 10:00~12:00	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ～自分の体に目を向けよう～	佐藤真紀子(横瀬医院医師)
3	5/28 (木) 10:00~12:00	メディア・リテラシー ～テレビ制作の現場からメディアを語る～	岡田ユリ子(CBCテレビプロデューサー)

4	6/4 (木) 10:00~12:00	ポジティブ・アクション ～男と女の格差はどうすればなくなるの?～	國信潤子(愛知淑徳大学教授)
5	6/11 (木) 10:00~12:00	アンペイド・ワーク ～家事や育児も立派な仕事。ちゃんと評価してほしい～	石田好江(愛知淑徳大学助教授)
6	6/18 (木) 10:00~12:00	エンパワーメント ～ちょっとだけ自分のためにがんばってみよう～	北村明美(弁護士)

### 【平成10年度冬期】

女性学へのお誘い		日本のメディアでは、女性をどう描いているかを考え、女性学の視点で新聞を読んでみる。	対象：一般 定員：40人 参加者：51人(応募91人) 受講料：1人1,000円
日時		テーマ	講師
1	1/23 (土) 13:30~15:30	世論調査の新聞報道を分析 ～男は世論調査の名を借りて嘘をつく?～	岡元行雄(兵庫県立看護大学教授)
2	1/30 (土) 13:30~15:30	家庭・生活面は女のページ? ～書き手と読み手、性別役割分担意識～	高島智世(愛知教育大学ほか 非常勤講師)
3	2/6 (土) 13:30~15:30	「女」がニュースになる時 ～男性支配メディアのニュース価値観～	山口正紀(読売新聞記者)
4	2/13 (土) 13:30~15:30	紙面にみる女性の事情 ～自分の身体、守れますか?～	清水亮(清水マタニティ相談 所助産婦)
5	2/20 (土) 13:30~15:30	メディアにみる女と男～戦後の社会変化の中で～ (男性専科との合同講義)	中村彰(メンズセンター運営 委員会座長)
6	2/27 (土) 13:30~15:30	新聞を通して見えてくる男社会 ～ジェンダーの視点を持ってみよう～	和田明子(月火水の会)

### 【平成9年度春期】

女性学へのお誘い		現代の女性をめぐる様々な制度や問題をあわせて考え、新しい時代にふさわしい「女性の生き方」とは何かを探る。	対象：一般 定員：40人 参加者：39人(応募47人) 受講料：1人1,000円
日時		テーマ	講師
1	5/22 (木) 10:00~12:00	心の自立への第一歩 ～「らしさ」ととらわれていませんか～	富安玲子(愛知淑徳大学教授)
2	5/29 (木) 10:00~12:00	歴史の中の女性たち～アメリカのフェミニズムの行方～	鵜殿えりか(愛知県立大学教授)
3	6/5 (木) 10:00~12:00	日本の女性はどこへ行く ～バブルは日本女性にどんな影響を与えたのか～	後藤澄江(日本福祉大学助教授)
4	6/12 (木) 10:00~12:00	あなたならどうしますか ～「選択的夫婦別姓」と「5年別居条項」を考える～	池田桂子(弁護士)
5	6/19 (木) 10:00~12:00	不妊を考える～女性問題としての不妊～	赤城恵子(日本家族計画協 会・不妊相談センター相談員)
6	6/26 (木) 10:00~12:00	グループワーク～社会の中の私を見つめて～	岡久美子(シニアライフ研究 所りあもでん代表)

### 【平成9年度冬期】

女性学へのお誘い		現代の女性をめぐる様々な制度や問題を女性の一生を通して考えてみる。	対象：一般 定員：40人 参加者：36人(応募113人) 受講料：1人1,000円
日時		テーマ	講師
1	1/22 (木) 10:00~12:00	ジェンダーの刷り込み～育てられ方をふりかえる～	河上婦志子(神奈川大学教授)
2	1/29 (木) 10:00~12:00	多様化する家族像～変わりゆく家族のあり方～	林寛子(中日新聞記者)

3	2/5 (木) 10:00~12:00	「妻」の立場、「夫」の立場 ～「女」と「男」のパートナーシップを考える～	坂本洋子(日本青年館結婚相談所所長)
4	2/12 (木) 10:00~12:00	「介護」の現実～女だけが介護の担い手ですか?～	山本道子(社会保険労務士)
5	2/19 (木) 10:00~12:00	私にできること～女の人生はまだまだこれから～	九鬼綾子(ミックインターナショナル代表取締役)
6	2/26 (木) 10:00~12:00	最後まで私が決める～いまどきの葬儀・お墓事情～	岡久美子(プリントメディアディレクター)

【平成8年度】

女性のニューライフ・ニューアイデア ～女性学への第一歩		現代の女性を巡る様々な問題を考え、これからの時代に向け、新しい女性の生き方と考え方を探ることから女性学を始める。	対象：女性 定員：40人 参加者：44人(応募 67人) 受講料：1人1,000円
日時		テーマ	講師
1	10/24 (木) 10:00~12:00	「男らしさ」「女らしさ」ってなに ～子供を取りまく性差別がつくるもの～	岡久美子(プリントメディアディレクター)
2	10/31 (木) 10:00~12:00	昨今の結婚・離婚事情 ～夫婦別「姓」「財産」「お墓」を考える～	池田桂子(弁護士)
3	11/7 (木) 10:00~12:00	女が働くこと～経済的な自立を考える～	関戸美恵子(ワーカーズ・エクラ代表)
4	11/14 (木) 10:00~12:00	「産む、産まない、産めない」 ～子供のいる人生、子供のいない人生～	フィンレージの会メンバー
5	11/21 (木) 10:00~12:00	女が変われば、男も変わる～男性も解放されたい～	中村彰(メンズセンター運営委員会座長)
6	11/28 (木) 10:00~12:00	幸福の条件～男女共生社会を生きる～	後藤澄江(日本福祉大学助教授)